

# U.S. Indicators

発表日:2024年3月6日(水)

## 米国 ヘッドラインよりも良い内容 (2月ISM非製造業)

～非製造業部門は緩やかな減速トレンド～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年2月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、52.6(前月53.4)と前月比0.8%ポイント低下、市場予想の53.0(筆者予想52.8)を下回った。入荷遅延が前月に悪天候などの影響で上昇した反動で低下したほか、雇用がミスマッチ等により下振れ、全体を押し下げた。ただし、事業活動の堅調さを映じて活動指数、新規受注が高い水準に上昇した。また、拡大した業種数は、全18業種中14業種(前月10業種)に増加しており、2月の非製造業部門はヘッドラインが示すよりも良好な業況だったとみられ、非製造業部門は緩やかな減速傾向を辿っていると判断される。回答者の大多数は景気について概ね楽観的だったものの、依然としてインフレ、コスト増加、地政学的な紛争を懸念していることが指摘された。

非製造業総合指数の構成項目では、活動指数が57.2(前月55.8、前月比+1.4%ポイント)、新規受注が56.1(前月55.0、前月比+1.1%ポイント)と上昇した一方、入荷遅延が48.9(前月52.4、前月比▲3.5%ポイント)、雇用が48.0(前月50.5、前月比▲2.5%ポイント)と低下した。総合指数への寄与度では、活動指数が前月比+0.35%ポイント、新規受注が前月比+0.28%ポイントの押し上げ寄与となった一方、入荷遅延が前月比▲0.88%ポイント、雇用が前月比▲0.63%ポイントの押し下げ寄与となった。

サブ項目では、新規輸出受注が51.6(前月56.1、前月比▲4.5%ポイント)と低下し、サービス輸出の小幅増を示した。一方、輸入は54.3(前月59.9、前月比▲5.6%ポイント)と低下したが比較的高い水準を維持しており、サービス輸入の拡大ペースの小幅鈍化を示した。

インフレ環境では、仕入価格指数が58.6(前月64.0)と低下し、インフレ圧力の緩和を示した。労働コスト等の継続的な上昇のほか、ソフトウェアサポート、牛肉、ガソリン等の上昇によって押し上げられた一方、アルミニウム製品、銅製品が下落し、低下した。供給不足の分野として、変圧器、自動車、建設業者、電気部品等が挙げられた。

### ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
23/06	53.6	59.2	55.5	53.1	47.6	43.9	54.1	61.5	55.9
23/07	52.8	57.1	55.0	50.7	48.1	52.1	56.8	61.1	50.4
23/08	54.1	57.3	57.5	54.7	48.5	41.8	58.9	62.1	57.7
23/09	53.4	58.8	51.8	53.4	50.4	48.6	58.9	63.7	54.2
23/10	51.9	54.5	55.1	50.4	47.5	50.9	58.0	48.8	49.5
23/11	52.5	54.9	54.8	50.6	49.6	49.1	57.6	53.6	55.4
23/12	50.5	55.8	52.8	43.8	49.5	49.4	56.7	50.4	49.6
24/01	53.4	55.8	55.0	50.5	52.4	51.4	64.0	56.1	49.1
24/02	52.6	57.2	56.1	48.0	48.9	50.3	58.6	51.6	47.1

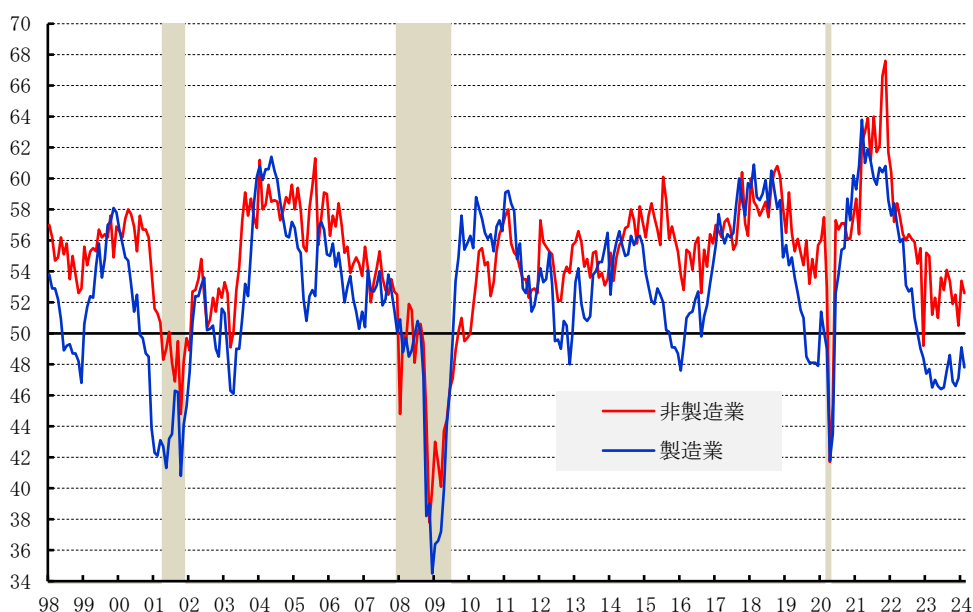
(出所) ISM



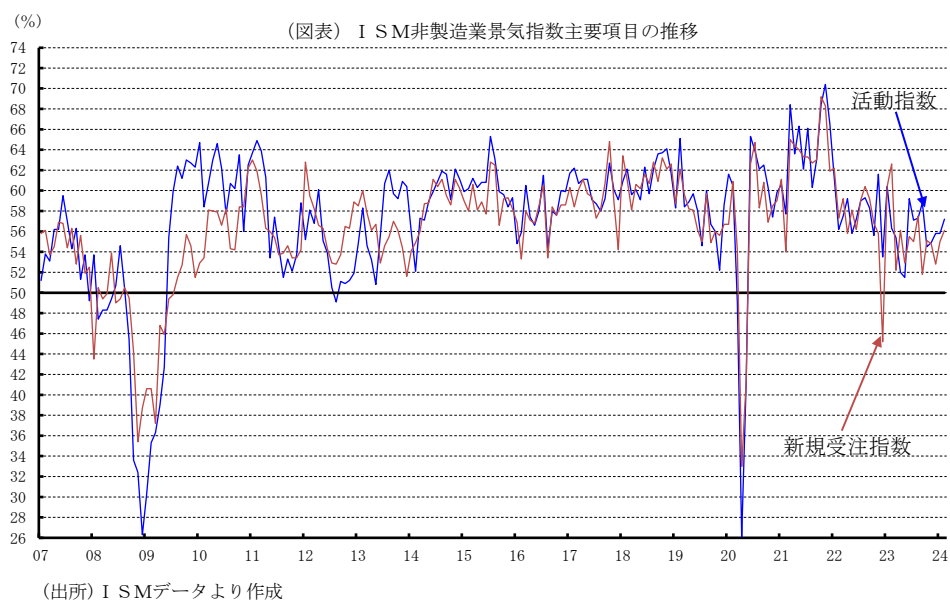
2月に拡大した業種数は、18業種中14業種（前月10業種）と増加した。拡大した業種は、強い順に建設業、小売業、公的部門、医療・社会支援、宿泊・飲食サービス、公益、専門・科学・技術サービス、企業向けサービス、金融・保険、農林水産業、卸売業、情報産業、教育サービス、運輸・倉庫（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。一方、縮小した業種は、芸術・娯楽・レクリエーション、鉱業、不動産・賃貸・リース業の3業種（前月7業種）に減少した。その他サービスは変わらずとなった。

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数の合成）」は、2月に52.1（前月53.0）と低下し、景気拡大ペースの減速を示した。四半期では、1－3月期（1、2月平均）の製造業は、48.5と10－12月期の46.9を上回ったほか、非製造業が53.0と10－12月期の51.6を上回り、加速した。この結果、1－3月期のISM総合景気指数は、52.5と10－12月期の51.2から加速、1－3月期の景気も堅調さを維持していることを示している。

ISM景気指数の推移



（出所）ISM（注）シャドー部は景気後退期



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

